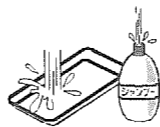


4月から分別収集を開始します プラスチック製容器包装類の分別にご協力をお願いします

各家庭では、分別の準備を始めましょう

プラスチック製容器包装類（以下 プラ製ごみ）は、月2回の収集です。各家庭では、プラ製ごみ専用のごみ箱（ダンボールにごみ袋をかぶせ、使用するのも実用的です）を用意して、収集日まで保管してください。



軽く水洗いを心がけて！

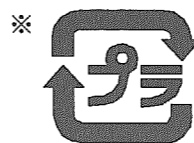


透明・半透明の袋



かさばるものは、小さく圧縮して入れると長持ちするよ！

◎プラスチックマーク*を確認して、プラ製ごみだけを袋に入れて出しましょう。



商品の袋の裏面や、容器のふた、底などに、表示してあります。

注意

異物が混入すると、処理に支障をきたしますので、他のごみは混ぜないでください。

◎収集場所は、可燃ごみと一緒に一般ごみステーションです。



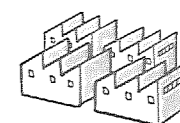
マナーを守って！



決められた日時に決められた場所へ！



マナーが良ければ効率よく収集できる！



再処理工場生まれ変わります！

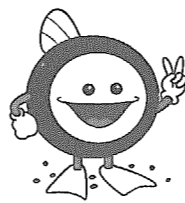
◎日程については、広報3月号と一緒に配付した『平成15年度ごみの分け方・出し方（ごみ収集カレンダー）』で確認してください。

交通災害共済に加入（更新）を

平成15年度交通災害共済申込書を、2月中旬に全世帯に配布しました。家族みんなでの加入の更新、新規加入をお勧めします。もしものとき（交通事故）に備えて、まだ加入手続きをされていない方は、ぜひご加入下さい。問い合わせ 町民生活課

個人の敷地内の下水道管について、町では特定業者に清掃業務等の委託をしております

最近、各家庭をまわって「個人の敷地内の下水道管やマスの清掃および調査業務」と称して営業をしている業者がいます。このことに関して、役場建設企業課に問い合わせの電話が多く寄せられています。その電話の内容は「清掃業務等を町がその業者に委託、依頼したのですか？」という質問の内容でした。個人の敷地内の管やマスの管理は、各個人で行うことになっています。したがって、町は清掃業務等を特定業者に委託していませんので、お知らせします。なお、今までに管やマスが



下水道に関するお問い合わせは、建設企業課 下水道係へお寄せ下さい。
☎385-12111
(内線142)

1月資源ごみ収集実績

空きびん	6.0 t
空き缶	4.3 t
古紙	27.8 t
ペットボトル (拠点回収分)	0.7 t
合計	38.8 t

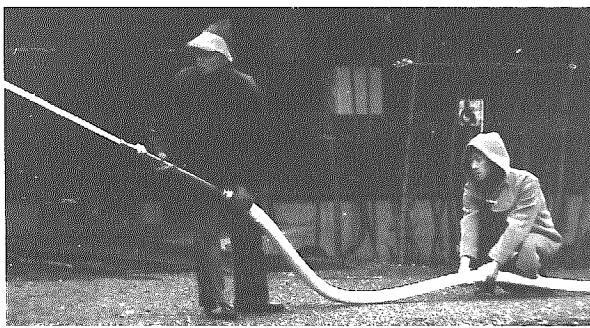
ごみに関するお問い合わせは、町民生活課へ。

火災から大切な文化財を守れ！ 北方文化博物館で防火訓練実施

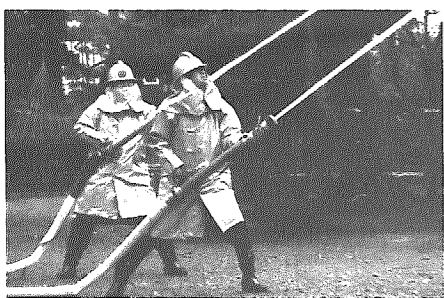
1月28日、北方文化博物館において、博物館職員50名と地元消防団員7名が参加して防火訓練が行われました。この訓練は、貴重な文化財を所蔵し、建物自体も登録文化財である同館の保護を目的に、1月26日の文化防火デーの一環として毎年実施されています。

訓練では、母屋台所から出火したとの想定で、博物館職員が「火災発生」と叫びながら火災報知器を鳴らし、119番へ通報。直

ちに見学客の避難誘導と、職員による自衛消防団が消火ホースを使った初期消火訓練を実施。すぐに地元消防団が到着して、古井戸を防火用水として利用した放水訓練が行われました。その後、万一の火災にあわてずしっかりと初期消火ができるよう、職員の皆さんは消火器の扱い方を何度も繰り返し練習しました。博物館では、木造建築のため火のまわりが早いことから、消火器や火災報知器の位置の確認、火の取り扱いに日頃から大変気を付けています。



↑博物館職員による初期消火訓練



沢海分団による放水訓練

写真を通して 町の良さを再発見 第11回景観再発見 写真コンテスト 表彰式



町長賞を受賞した栗原光男さん

2月10日、第11回景観再発見写真コンテスト入賞者の表彰式が役場にて行われました。式には、入賞者16名が出席し、

浅見町長から「横越町は、自然や山、阿賀野川、小阿賀野川など、すばらしい景観に恵まれています。写真を通して、ふるさ

との良さを発見し、作品にして下さったことに、心からお礼を申し上げます」と受賞者に感謝の言葉が贈られたほか、協賛団体の関係者からも作品の感想や称賛の言葉が贈られました。その後、入賞者一人ひとりに表彰状と記念品が贈呈されました。●町長賞受賞者 栗原光男さんの受賞の言葉 「人と竹が重ならないように、自分から動いてシャッターチャンスを狙いました。初めて応募して賞を頂き、非常にありがたいです」と感想を述べていました。栗原さんは町に足を運び、床固め公園のチューリップ、長いもなどの写真も撮っているとのことでした。

短歌

(公募作品)

晴れわたる湖面に居りし白鳥は鴨と競って餌を喰みおり
雪道を急ぎて帰る道すがら吾娘の絵の入選を共に喜ぶ
積雪の多い沢海の祖母の庭でかまくらづくりして遊んだよ
おはようの只これだけの口まわし優し嫁孫よありがどうです
歌人は俳句と短歌に別れ告げ星になりしか天に旅立つ
ようやくに喋り始めし外孫の年賀の言葉ほほえみて聞く
晴れやかな陽の出となりし元朝に思わず双の手合わせていたり
みぞれ降り暮れ早まれば客絶えて物売の店は早じまいせり
若きより働き詰めに働かし卒寿終えたる母はたくまし
年毎に休み田舎へ国病めり瑞穂の国とは名ばかりにして
自らの軒に覚むる侘しさに馴れてこの頃安けくありぬ
吹雪くなか電柱替える工夫らの馴れての業に苦勞憫ばる
一年生の孫にせがまれ教へたり昔ながらのお手玉遊び

新潟市	青木 彬樹
新潟市	村山 朱美
新潟市	本間絵里香
上町	中村チヨイ
沢海	田辺タケノ
沢海	藤田千代美
沢海	清水 雅美
沢海	渋谷 ウタ
木津	清田 寿磨
木津	坪谷 雅博
小杉	保科 蘭山
小杉	小田トキイ
小杉	中川マツノ